

せんだん



<http://www.pref.toyama.jp/1250/kurashi/kenkou/shougaiasha/toppage/index.html>

富山県立
砺波学園
砺波市福山1164

〈発行責任者〉
松本吉永

イベント

砺波ライオンズクラブさんとの
交流再開!



島尾海岸にて
地引網体験



地域の行事に参加しました



般若公民館まつり



ひまわり元気プロジェクト



となみ庄川散居村縦断
マラソン大会完走!

みんなで作った鏡もち!
べったんこ〜



べったん
べったん
べったん



昨日のイベントで
児童がもちつきをして
鏡餅をつくりました。

『能登半島地震をうけて』

次長 宮川 佳之

今年初日の地震では、幸いなことに、子ども達、職員ともに怪我もなく、電気・水道も支障なし、集中暖房は安全装置の機能により停止はしたものの普通に通に再起動、そして、一番幸いなことは、子ども達が落ち着いて普段どおりに過ごせたことです。職員も特に困ることはなかったというものでした。ひよっとしたら本誌名の由来になっている梅檀の地の利のおかげなのかもしれません。

なにより、子ども達が普段の避難訓練以上に落ち着いて行動できたことや、空調の管理者さんには優先して異常がないか確認にきてもらったことなど、『学園は護られているな』としみじみ感じた次第です。また学園では災害時におけるBCP(業務継続計画)をまさに策定中であったのも、更に職員の適切な行動に繋がったのではないかと考えております。

安全対策面

今回は震源からも比較的速く、被害はありませんでしたが、これからのそうだとはいえません。今後とも普段の訓練等を通じ、安全で安心な学園生活のため、職員一同取り組んでまいります。



感染症対策面

～この一年の変化とこれからの生活～



『感染症対策の継続と意義』

保健師 伊藤 有美

世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月から、感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられました。これにより、新型コロナウイルス対策は、個人の自主的判断と行動を基本とする方向に移行しましたが、学園では「集団生活」という場面において、新型コロナウイルスに関わらず、感染症全般について、日頃より感染症対策を継続しています。

平常時より手指消毒や環境整備、必用時のマスク着用等の感染症対策を促すことは、いつ起こるか分からない感染症に対してできる最大の自己防衛です。また、今後生きていく中で、どの生活場面においても「感染対策」は身を守るための大切な行いなのです。子どもたちには感染対策を当たり前と考えるよう取り組みたいと考えております。

最後となりますが、子ども達が毎日を元気な身体で過ごせるよう微力ながら努めてまいりますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

行動制限の緩和と行事の再開

昨年5月に新型コロナウイルスが5類に移行し、それまで感染拡大防止のために中止や縮小を余儀なくされていた園内外の行事が、この1年で徐々に再開されました。

外部講師の方々によるスポーツ教室やエアロビ、お茶・お花教室などの各教室やスポーツ大会、マラソン大会、ライオンズクラブとの交流会、買い物学習などが次々と再開され、子どもたちの楽しそうな笑顔が戻ってきました。また、園生一同ホールに集まる行事では、以前にも増しての盛り上がりを感じます。

日常生活においては、距離を取りながら対面での食事でもできるようになってきました。

これからも、感染症対策を講じながら、地域の方々との交流や子どもたちのさまざまな体験の機会を大切にしていきたいと思っています。

(鍋山 記)



学園における感染症対策の紹介

感染症がいつ起こるかわからないため、日頃からどのような感染症が起こっても広げないよう訓練に取り組んでいます。



実際に感染対応の際に使用する個人防護具の着脱訓練では、特に脱衣時の正しい脱ぎ方に気を付けながら鏡を見て行っています。ブルーライトに反応する液体を防護具に付着させ、実際に脱いだ後に液体が衣類等に反応していないかを確認し、正しい脱ぎ方ができているかのチェックをしています。

その他に、嘔吐物処理の対応訓練も実施しており、処理の方法はもちろん、予防策などについても学んでいます。そして演習を行うことで、実際に必要となった時に適切な対応ができるようにしています。

子どもたちの健康や生活を守り維持するためにも、これからも訓練に取り組み、感染症対策を続けていきたいと思っています。

(渡辺 記)



自然災害版業務継続計画について

国の運営基準に基づく改定により、障害児入所施設で自然災害版業務継続計画(以下「自然災害版BCP」という)の作成が義務付けられ、砺波学園でも作成委員会を設置しR5年度に作成しました。

BCPとは Business Continuity Plan(業務継続計画)の略称です。自然災害版BCPを作成することで災害発生時に適切な対応を行い、その後も必要な業務を継続的に行うことができます。

昨年度は、作成した自然災害版BCPに基づき、児童や職員が非常食を作ったり食べたりする訓練や、自然災害版BCPの内容を職員に周知する研修を実施しました。

能登半島地震では、富山県でも震度5弱・強の地震が発生しました。いつ起こるか分からない災害に素早く対応し、児童の安全を確保するためにも自然災害版BCPの確実な運用に力を入れています。

今年は昨年度作成した自然災害版BCPを見直し、災害が起きた際に長期的な対応が出来るよう改善していきたいと考えています。富山県や近隣の県にも活断層が複数あり、地震がいつ起きるかわかりません。そのため、一層対策を強化していきたいです。

(三井 記)



避難訓練など取り組んでいる安全対策について

学園の安全対策としては、火災、地震、不審者の侵入、感染症、食中毒の発生、熊の出没、Jアラートの発信などを想定しています。その中でも災害時における避難訓練においては、年12回の実施が義務付けられており、児童は月1回火災又は地震想定の実施を行っています。出火場所や災害状況に合わせ避難経路は2か所を設定、児童が順応できるように訓練しています。不審者対応訓練は警察の方の協力を得て児童がいる夏休みに実施をしています。児童所在不明捜索訓練と合同避難訓練では、学園の小・中学生が通うとなみ東支援学校と毎年合同で実施し、非常時に備え連携を図って訓練を行っています。今後も訓練等を通じ児童の安全確保等に備えていければと思います。

(金谷 記)



保護者会より

保護者会会長 羽柴 純

本年度四月、会長に選出された羽柴です。
 砺波学園にお世話になってから八年程になりました。子供が入所した時は、小学二年で幼く不安と心配の日々でしたが、今は学園での生活にも慣れ、だいぶしっかりとってきた子供をみて喜ばしく思います。
 保護者会には、時折参加していましたが、なかなか顔と名前が覚えられず、少し慣れたら退園のりかえしで、もう少し話をしたり、交流を深めておけば良かったなあと思っています。不慣れで不手際なこともあると思いますが、先生方や保護者の方々のお力を借りながら、任期終了まで頑張りますのでよろしくお願いたします。
 保護者会はみなな会です。どんな小さな意見でもお聞かせください。思いついた事を連絡帳でお知らせいただけたらと思います。又、同じ境遇をもつ親同士が学園の先生も交え、たわいのない会話の中で、悩み、苦しみ、少しでも気持ちが楽になるのではと思っています。そして生きて行くヒントがある様に思っています。
 意見の言いやすい、話のしやすい、風通しの良い保護者会になれば良いと思っています。皆様のご参加ご協力よろしくお願いたします。



縁の下の力持ち!

職員二名が午前と午後に分かれ、学園施設内外の清掃や子どもたちの衣類の洗濯などを主に行っています。
 特に洗濯は、みんな育ち盛りというところもあり、毎日膨大な量がでてきます。家庭の洗濯と違い難しいのは洗濯物の仕分けです。衣類等の生地や材質によっては名前が書けないものや、書いてもすぐ消えるもの、名札をつけてあげてもはいつたりすることも多いため、いつも悩まされています。時には子どもたちが教えてくれることもあります。これから暑さが本格的になってくるシーズンです。暑くなるにつれ、当然洗濯物も増えるので、量に圧倒されてくるのではないように、子どもたちが清潔な環境で生活できるように頑張ります。

自立支援の強化

移行支援活動

障害児入所施設に入所する障害児等の移行調整については、都道府県、市町村等の関係者ごとに具体的に取組むべきこと等が手引書としてまとめられています。
 学園としては昨年度に引き続き、移行支援業務全般の管理・運営・渉外等を行う職員を配置し、学園全体の移行調整の責任主体として関係機関との連絡調整等を実施しています。
 15歳以上の入所児童に対しては、本人の意思も尊重・確認しながら、移行支援計画を作成し、それに基づいて児童施設から次の移行先についてどのようなところが良いのか等、様々な可能性を考えて、相談、施設見学、ケース会議に参加等してまいります。スムーズにより良い移行ができるよう努めています。

子どもたちが支援を受けながらも社会活動へ参加するため、一人ひとりに応じた自立支援体験を計画しています。療育手帳を使って公共交通機関を利用したり、自分の成長にあった衣類の買い物をしたりします。例えば、髪が伸びてきたときはどうしたらよいのか。「床屋さんで切ってもらおう」と答える児童も、どのようにお願い(予約)するのか、希望の髪型はどう伝えたらよいのか等、細かなところは体験してみないと分からないことがありますが、事前に、職員と予約の電話をかける練習をしたり、店の中でのマナーを確認したりします。子どもたちの持つ持っている力を伸ばし、自立に向けた支援へと繋げていきたいです。

自立支援活動

子どもたちが支援を受けながらも社会活動へ参加するため、一人ひとりに応じた自立支援体験を計画しています。療育手帳を使って公共交通機関を利用したり、自分の成長にあった衣類の買い物をしたりします。例えば、髪が伸びてきたときはどうしたらよいのか。「床屋さんで切ってもらおう」と答える児童も、どのようにお願い(予約)するのか、希望の髪型はどう伝えたらよいのか等、細かなところは体験してみないと分からないことがありますが、事前に、職員と予約の電話をかける練習をしたり、店の中でのマナーを確認したりします。子どもたちの持つ持っている力を伸ばし、自立に向けた支援へと繋げていきたいです。



調理実習



バス利用体験



グループホーム見学

(井澤 記)

学園の苦情解決及び事故対応の状況について

令和6年2月、第三者委員の方と懇談会及び被措置児童等虐待防止委員会を実施し、事故・苦情状況と対応・再発防止及び、被措置児童等虐待防止に関する取り組みを報告しました。委員の方からは他施設での対応状況や児童のプライバシー保護に関すること等貴重なご意見をいただきました。また、意思決定支援の方法について情報交換を行いました。

事	件数
育成班	0件
療育班	10件
計	10件
苦情	2件

(令和5年6月~令和6年5月)

苦情対応の報告

令和6年1月、本学園でいじめが行われているという通告が他機関にありました。本学園児童から話を聞いた方が、園内で職員による児童へのいじめがあると考え通告されたようです。
 園内での児童・職員からの聞き取り、児童相談所への報告等の対応を行い、2月の第三者委員会及び虐待防止委員会でも経過及び対応について説明し、御意見をいただきました。
 結果として、虐待ではなく、いくつかの場面での、職員の言動についての児童からの苦情として判断され、職員で日頃の言葉がけ等を振り返り、児童の障害特性に応じた対応等を職員間で協議しながら、児童に接する対応を確認しました。児童には、今後も児童が相談しやすい体制を整えていくこと、職員の言動について意見があれば、心理面談やふれあいボックス等も利用して、相談してほしいと伝えました。保護者にも、相談しやすい環境づくりに努めてほしいと考えました。

(沼田 記)

新人職員紹介

①砺波学園の印象は?
 ②仕事でやりがいや喜びを感じることは?
 ③リフレッシュ法は?
 ④抱負を聞かせて!

高川 百代 (療育班)
 ①自然の中で子どもたちが元気に遊ぶ姿を見て、嬉しく思います。自然の中で子どもたちが元気に遊ぶ姿を見て、嬉しく思います。
 ②子どもたちが笑顔になってくれた時、嬉しく思います。子どもたちが笑顔になってくれた時、嬉しく思います。
 ③子どもたちの成長を実感しながら、自分も支援や業務など様々な面で人として成長できるように頑張ります。

高橋 亜莉 (育成班)
 ①子どもたちはみんな元気で明るい。子どもたちはみんな元気で明るい。
 ②日々の支援を通じて子どもたちが少しずつ成長する姿を見て、嬉しく思います。日々の支援を通じて子どもたちが少しずつ成長する姿を見て、嬉しく思います。
 ③ラーメン屋巡り、カラオケ、ゲーム、マンガ喫茶に寄り添って、子どもたちと一緒に過ごせるように頑張りたいです。

和泉 凛音 (療育班)
 ①子どもたちがのびのびと楽しそうに過ごしている姿を見て、嬉しく思います。子どもたちがのびのびと楽しそうに過ごしている姿を見て、嬉しく思います。
 ②子どもたちが笑顔になってくれた時、嬉しく思います。子どもたちが笑顔になってくれた時、嬉しく思います。
 ③子どもたちの成長を実感しながら、自分も支援や業務など様々な面で人として成長できるように頑張ります。

大坪 加奈 (管理課)
 ①子どもたちが楽しく元気に生活している姿を見て、嬉しく思います。子どもたちが楽しく元気に生活している姿を見て、嬉しく思います。
 ②初めての業務をやり遂げ、旅先で美味しいものを食べたり、旅行に行ったりする姿を見て、嬉しく思います。初めての業務をやり遂げ、旅先で美味しいものを食べたり、旅行に行ったりする姿を見て、嬉しく思います。
 ④学園の運営をサポートできるように頑張ります。

善意の窓

(敬称略・五十音順)

- 大根谷友和
- 貝淵悦子
- 貝淵文夫
- カナカン株式会社
- 窪田敬子
- 県庁職員労働組合
- ご近所の匿名希望の方
- 齋藤真知子
- 澤田グループ
- 庄東地区民生委員・児童委員協議会
- 女性相談センター
- 梅檀山ヘルスポランテニア
- 砺波市更生保護女性会
- となみ庄川散居村縦断マラソン実行委員会
- となみセントラルライオンズクラブ
- 砺波ライオンズクラブ
- 富山県善意銀行
- 富山県立砺波工業高校吹奏楽部
- 中島陸美
- ニュークリスタル
- 福山自治会 福澤武邦
- 福山地区環境保全推進委員会 福田稔也
- 前田由美子
- 吉久明美
- 理容力メガイ



春

夏

ほのほのにこにこ
元気いっぱい み~つけたっ!



秋

冬

編集後記

今年始めに発生した能登半島地震。被災に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を学園一同心からお祈り申し上げます。

学園はおかげさまで大きな被害はありませんでしたが、いざ災害が起こると想定外の状況や対応に直面し、改めて命と生活を守るために何が必要かを考えさせられました。災害や感染症などで当たり前だった日常が大きく変容することはありません。子どもたちの成長は、いつも変わらず元気と希望をもらっています。安心・安全の中で子どもたちがのびのび成長していく喜びを、これからも皆さんと一緒に日々感じていきたいです。(山田記)

年間行事予定	
4月 1日	新任式
5月 16日	こども会役員選挙
7月 3日	七夕のつどい
8月 7日	夏季特別体験(育成班)
8月 9日	夏季特別体験(療育班)
10月 12日	黒部学園との交流会
11月 24日	杉の子祭
12月 24日	年末お楽しみ会
1月 3日	園長座談会
2月 3日	節分の集い
3月 31日	ひなまつりの集い 退任式、離任式

※定期的にミュージックケア、発明クラブ、各種教室(ボールペン習字、詩吟、お茶お花、エアロビ、スポーツ)、こども会役員会、誕生会、避難訓練、心の発達相談を実施しています。

※今年度の杉の子祭は新型コロナウイルスの感染に注意して、少し内容を充実して行う予定です。